

未来医療研究人材養成拠点形成事業
選定事業の概要と推進委員会からの主なコメント
[テーマA：メディカル・イノベーション推進人材の養成]

		整理番号	A - 3
申請担当大学名 (連携大学名)	東京大学		
事業名	臨床発実用化マネジメント人材養成拠点		
事業責任者	大学院薬学系研究科 特任教授 木村 廣道		
事業の概要			
<p>本事業は、TR プロジェクト推進のために有用な人材を養成し、TR 活性化を通じてメディカルイノベーションに貢献することを目的とする。すなわち、() 異分野融合型のプロジェクトを総合的にマネジメントする人材、() プロジェクトに必要な実務能力・知識を備えた医師・研究者、() プロジェクトを主体的に実施できる臨床医(例：医師主導治験の治験責任者)を育成することを目的とする。() ~ () の実現に必要なスキル・マインド・ニーズの探索能力の養成等について、外部機関と協働して独自カリキュラムを作成する。教育対象は、主として将来的に医師としてTRに関わるものを想定するが、上記() () においては、工学系、薬学系その他領域の研究者も含まれる。医工薬学系の学部生、大学院生、研修医を対象に「医療イノベーション先導人材養成コース」を設置すると同時に、東大病院に所属の医師等に対する教育の機会を提供する。</p>			
推進委員会からの主なコメント : 優れた点等、 : 改善を要する点等			
<p>トランスレーショナル・リサーチの重要性を基本に、その推進に必要なマネジメント人材の育成に主眼をおいたユニークなプログラムである。</p> <p>座学による基礎・入門コースから実践的コースまでが段階的に設けられ、教育体制が合理的に練られている。</p> <p>医学部・医学系研究科のみならず、薬学系研究科、工学系研究科との連携により創薬ニーズ探索、医療機器ニーズ探索からトランスレーショナル・リサーチ実用化プランへの道筋が示されている。</p> <p>医工連携、産学連携の実績を活かした成果が期待できる。</p> <p>このプログラムを支援する学内の体制が整っている。</p> <p>マネジメント人材でも生物統計、知財、薬事等いずれかの分野に対する深い理解がベースにないと活躍は困難。逆にそれらの習得を既存プログラムに依存する場合、当該プログラムと本プログラムとの差別化がやや不明確である。</p> <p>臨床統計、医療経済、倫理、知財等の教育内容が示されているが、どのような学生への教育を行うかが不明である。</p> <p>養成する人材が「産官学の多様なキャリアパスでリーダーとして活躍」し得るよう修学の過程で具体的にどのようにキャリアを進めるかを示すと良い。</p>			
留意事項			
<p>本プログラムの履修科目を各教育課程(学士・修士・博士課程)の授業科目、単位とする場合には、学部・大学院それぞれのレベルに応じた教育内容・評価とすること。</p>			